

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信 (非連結)

平成20年11月25日

会 社 名 朝日火災海上保険株式会社

ホームページアドレス: <http://www.asahikasai.co.jp>

代 表 者 役職名 取締役社長 氏名 大家 一穂

問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 角谷 洋一 TEL (03) 3294 - 2126

半期報告書提出予定日 平成20年12月25日

## 1. 20年9月中間期の業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(注) 金額及び株式数は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。  
また、マイナスの場合は△表示しております。以下の諸表も同様であります。

### (1) 経営成績

	正味収入 (対前期)		経常利益 (対前期)	
	保険料	(増減率)		(増減率)
	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	20,232	(△3.5)	△238	(△123.2)
19年9月中間期	20,965	(△0.9)	1,027	(20.1)

	中間純利益 (対前期)		1株当たり 中間純利益	
		(増減率)		
	百万円	%	円	銭
20年9月中間期	76	(214.5)	8	83
19年9月中間期	24	(△89.7)	2	79

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年9月中間期	392,204		21,482		5.5	2,503	38
20年3月期	393,799		30,309		7.7	3,499	08

(参考) 自己資本 20年9月中間期 21,482百万円 20年3月期 30,309百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
20年3月期	—	—	—	6	00	6	00
21年3月期	—	—	—	—	—	—	—

## 3. その他

### (1) 重要な会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

### (2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 20年9月中間期 8,690,000株 20年3月期 8,690,000株
- ② 期末自己株式数 20年9月中間期 108,504株 20年3月期 27,835株
- ③ 期中平均株式数 (中間期) 20年9月中間期 8,631,046株 19年9月中間期 8,673,438株

## 平成20年9月中間期損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

科 目		期 別		比較増減	増加率	20年3月期
		19年9月中間期	20年9月中間期			
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		49,941	44,204	△5,736	△11.5	78,431
(元受正味保険料)		(23,305)	(22,262)	(△1,042)	(△4.5)	(42,348)
経 常	保険引受収益	50,275	44,900	△5,374	△10.7	81,240
	(うち正味収入保険料)	(20,965)	(20,232)	(△733)	(△3.5)	(39,341)
	(うち収入積立保険料)	(26,635)	(21,941)	(△4,694)	(△17.6)	(36,082)
	保険引受費用	46,079	41,464	△4,615	△10.0	72,665
	(うち正味支払保険金)	(9,954)	(9,759)	(△194)	(△2.0)	(20,349)
	(うち損害調査費)	(850)	(762)	(△87)	(△10.3)	(1,631)
	(うち諸手数料及び集金費)	(3,982)	(3,868)	(△113)	(△2.9)	(7,167)
	(うち満期返戻金)	(28,582)	(19,164)	(△9,418)	(△33.0)	(38,144)
	資産運用収益	3,426	4,096	670	19.6	8,510
	(うち利息及び配当金収入)	(3,853)	(4,310)	(457)	(11.9)	(7,787)
損	(うち有価証券売却益)	(1,520)	(2,445)	(925)	(60.9)	(5,622)
	資産運用費用	1,104	1,997	892	80.8	3,334
	(うち有価証券売却損)	(464)	(160)	(△303)	(△65.4)	(658)
	(うち有価証券評価損)	(402)	(1,416)	(1,013)	(251.6)	(2,201)
益	営業費及び一般管理費	5,443	5,813	370	6.8	11,519
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(5,409)	(5,782)	(373)	(6.9)	(11,447)
	その他経常損(△)益	△45	39	85	—	△145
経 常 利 益	経常利益	1,027	△238	△1,266	△123.2	2,086
	(保険引受利益)	(△1,178)	(△2,266)	(△1,088)	(—)	(△2,838)
特 別 損 益	特別利益	47	368	321	681.1	47
	特別損失	983	1	△981	△99.9	1,124
	特別損益	△935	367	1,303	—	△1,076
税引前中間(当期)純利益		91	128	37	40.4	1,009
法人税及び住民税		129	913	784	606.1	458
法人税等調整額		△61	△860	△799	—	246
中間(当期)純利益		24	76	51	214.5	304
諸 比 率	正味損害率	51.5%	52.0%			55.9%
	正味事業費率	44.8	47.7			47.3

(注) ① 保険引受利益=保険引受収益-(保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費)±その他収支

なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

○正味損害率 = (正味支払保険金+損害調査費) / 正味収入保険料 × 100

○正味事業費率 = (諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100

## [1] 収入保険料の種目別内訳

(単位：百万円)

期別 種目		19年9月中間期			20年9月中間期			20年3月期		
		金額	構成比	増収率	金額	構成比	増収率	金額	構成比	増収率
元受正味保険料	火災	5,053	10.1	1.7	5,192	11.7	2.8	10,490	13.4	3.3
	傷害	2,689	5.4	△7.1	2,437	5.5	△9.4	5,103	6.5	△5.8
	自動車	7,169	14.4	△2.9	6,988	15.8	△2.5	13,664	17.4	△2.8
	自動車損害賠償責任	3,115	6.2	△2.2	2,487	5.6	△20.1	5,023	6.4	△7.2
	満期戻長期	27,552	55.2	△0.4	22,806	51.6	△17.2	36,574	46.6	△11.3
	その他	4,360	8.7	3.0	4,292	9.8	△1.6	7,573	9.7	0.7
合計		49,941	100.0	△0.8	44,204	100.0	△11.5	78,431	100.0	△6.4
正味収入保険料	火災	3,469	16.5	1.2	3,650	18.0	5.2	7,585	19.3	△0.5
	傷害	1,690	8.1	△6.4	1,686	8.3	△0.2	3,197	8.1	△4.7
	自動車	7,046	33.6	△2.7	6,863	33.9	△2.6	13,438	34.2	△2.6
	自動車損害賠償責任	3,008	14.3	△1.6	2,495	12.3	△17.0	5,714	14.5	△1.7
	満期戻長期	1,813	8.7	△6.0	1,582	7.8	△12.7	2,460	6.3	△14.6
	その他	3,937	18.8	6.3	3,953	19.7	0.4	6,946	17.7	3.5
合計		20,965	100.0	△0.9	20,232	100.0	△3.5	39,341	100.0	△2.1

(注) 元受正味保険料は収入積立保険料を含んでおります。

## [2] 支払保険金及び損害率の種目別内訳

(単位：百万円)

期別 種目		19年9月中間期			20年9月中間期				20年3月期		
		金額	増加率	正味損害率	金額	増加率	正味損害率	比較増減	金額	増加率	正味損害率
火傷自動車 自動車損害賠償責任 満期戻長期 その他	火災	1,016	7.9	30.7	998	△1.8	28.6	△2.1	2,085	△16.2	28.9
	傷害	462	22.0	32.5	433	△6.2	29.0	△3.5	870	△8.9	31.3
	自動車	4,400	1.0	69.2	4,205	△4.4	66.6	△2.6	9,250	3.8	74.9
	自動車損害賠償責任	2,097	△3.4	72.7	2,118	1.0	89.9	17.2	4,218	△1.4	77.0
	満期戻長期	143	△28.2	9.5	269	86.9	18.9	9.4	242	△49.4	13.0
	その他	1,833	11.6	49.6	1,734	△5.4	47.5	△2.1	3,680	11.5	57.6
合計		9,954	2.7	51.5	9,759	△2.0	52.0	0.5	20,349	△0.3	55.9

(注) 損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	19年9月中間期		20年9月中間期		比較増減	20年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
現金及び預貯金	8,305	2.03	9,691	2.47	1,386	8,485	2.15
コーポレートローン	45,000	10.97	29,000	7.39	△16,000	20,000	5.08
買入金銭債権	373	0.09	347	0.09	△26	360	0.09
金銭の信託	3,443	0.84	550	0.14	△2,892	3,475	0.88
有価証券	337,387	82.27	329,787	84.10	△7,600	345,106	87.64
貸付金	3,034	0.74	2,907	0.74	△127	2,939	0.75
有形固定資産	1,457	0.36	1,438	0.37	△18	1,432	0.36
無形固定資産	1,923	0.47	3,859	0.98	1,936	2,933	0.74
その他資産	9,459	2.31	8,921	2.27	△537	9,170	2.33
繰延税金資産	—	—	6,076	1.55	6,076	262	0.07
貸倒引当金	△318	△0.08	△376	△0.10	△57	△367	△0.09
資産の部合計	410,065	100.00	392,204	100.00	△17,860	393,799	100.00
(負債の部)							
保険契約準備金	350,458	85.47	360,847	92.00	10,389	352,962	89.63
支払準備金	(12,423)		(13,122)		(699)	(12,094)	
責任準備金	(338,035)		(347,725)		(9,689)	(340,868)	
その他負債	3,833	0.93	3,340	0.85	△492	3,467	0.88
退職給付引当金	3,568	0.87	3,204	0.82	△363	3,365	0.85
役員退職慰労引当金	417	0.10	467	0.12	50	460	0.12
賞与引当金	329	0.08	610	0.16	280	613	0.16
価格変動準備金	2,480	0.60	2,249	0.57	△230	2,618	0.67
繰延税金負債	6,260	1.53	—	—	△6,260	—	—
負債の部合計	367,348	89.58	370,721	94.52	3,373	363,489	92.30
(純資産の部)							
株主資本	13,830	3.37	14,045	3.58	214	14,109	3.58
資本金	2,502	0.61	2,502	0.64	—	2,502	0.64
資本剰余金	2,331	0.57	2,331	0.59	—	2,331	0.59
資本準備金	(2,252)		(2,252)		(—)	(2,252)	
その他資本剰余金	(78)		(78)		(—)	(78)	
自己株式処分差益	((78))		((78))		((—))	((78))	
利益剰余金	9,042	2.21	9,346	2.38	304	9,322	2.37
利益準備金	(290)		(290)		(—)	(290)	
その他利益剰余金	(8,752)		(9,056)		(304)	(9,032)	
繰越利益剰余金	((112))		((156))		((44))	((392))	
自己株式	△44	△0.01	△134	△0.03	△90	△46	△0.01
評価・換算差額等	28,886	7.05	7,437	1.90	△21,448	16,200	4.11
その他有価証券評価差額金	28,886	7.05	7,437	1.90	△21,448	16,200	4.11
純資産の部合計	42,716	10.42	21,482	5.48	△21,234	30,309	7.70
負債及び純資産の部合計	410,065	100.00	392,204	100.00	△17,860	393,799	100.00

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

期別 科目		19年9月中間期		20年9月中間期		比較増減	20年3月期	
		金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
経常	経常収益	53,721	100.00	49,081	100.00	△4,640	89,825	100.00
	保険引受収益	50,275	93.58	44,900	91.48	△5,374	81,240	90.44
	(うち正味収入保険料)	(20,965)	39.03	(20,232)	41.22	△733	(39,341)	43.80
	(うち収入積立保険料)	(26,635)	49.58	(21,941)	44.70	△4,694	(36,082)	40.17
	(うち積立保険料等運用益)	(2,672)	4.97	(2,726)	5.56	54	(5,661)	6.30
	資産運用収益	3,426	6.38	4,096	8.35	670	8,510	9.47
	(うち利息及び配当金収入)	(3,853)	7.17	(4,310)	8.78	457	(7,787)	8.67
	(うち金銭の信託運用益)	(14)	0.03	(62)	0.13	48	(29)	0.03
	(うち有価証券売却益)	(1,520)	2.83	(2,445)	4.98	925	(5,622)	6.26
	(うち積立保険料等運用益振替)	(△2,672)	△4.97	(△2,726)	△5.56	△54	(△5,661)	△6.30
その他経常収益	20	0.04	83	0.17	63	73	0.08	
損益の部	経常費用	52,694	98.09	49,319	100.49	△3,374	87,739	97.68
	保険引受費用	46,079	85.78	41,464	84.48	△4,615	72,665	80.90
	(うち正味支払保険金)	(9,954)	18.53	(9,759)	19.88	△194	(20,349)	22.65
	(うち損害調査費)	(850)	1.58	(762)	1.55	△87	(1,631)	1.82
	(うち諸手数料及び集金費)	(3,982)	7.41	(3,868)	7.88	△113	(7,167)	7.98
	(うち満期返戻金)	(28,582)	53.20	(19,164)	39.05	△9,418	(38,144)	42.46
	(うち契約者配当金)	(2)	0.01	(21)	0.04	18	(4)	—
	(うち支払備金繰入額)	(178)	0.33	(1,028)	2.10	849	(—)	—
	(うち責任準備金繰入額)	(2,502)	4.66	(6,856)	13.97	4,354	(5,335)	5.94
	資産運用費用	1,104	2.06	1,997	4.07	892	3,334	3.71
	(うち金銭の信託運用損)	(139)	0.26	(—)	—	△139	(214)	0.24
	(うち有価証券売却損)	(464)	0.86	(160)	0.33	△303	(658)	0.73
	(うち有価証券評価損)	(402)	0.75	(1,416)	2.89	1,013	(2,201)	2.45
営業費及び一般管理費	5,443	10.13	5,813	11.85	370	11,519	12.83	
その他経常費用	66	0.12	44	0.09	△22	219	0.24	
経常利益	1,027	1.91	△238	△0.49	△1,266	2,086	2.32	
特別損益の部	特別利益	47	0.09	368	0.75	321	47	0.05
	価格変動準備金戻入額	(—)	—	(368)	0.75	368	(—)	—
	特別損失	983	1.83	1	—	△981	1,124	1.25
	不動産動産処分損	(1)	0.00	(1)	0.00	0	(4)	0.00
	価格変動準備金繰入額	(94)	0.18	(—)	—	△94	(232)	0.26
その他特別損失	(887)	1.65	(—)	—	△887	(887)	0.99	
税引前中間(当期)純利益	91	0.17	128	0.26	37	1,009	1.12	
法人税及び住民税	129	0.24	913	1.86	784	458	0.51	
法人税等調整額	△61	△0.12	△860	△1.75	△799	246	0.27	
中間(当期)純利益	24	0.05	76	0.16	51	304	0.34	

## 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本									評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価 ・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金							利益 剰余金 合計
						特別 準備金	繰越 利益 剰余金						
平成20年3月期残高	2,502	2,252	78	2,331	290	8,640	392	9,322	△46	14,109	16,200	16,200	30,309
中間会計期間中の変動額													
特別準備金の繰入	—	—	—	—	—	260	△260	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	—	—	△51	△51	—	△51	—	—	△51
中間純利益	—	—	—	—	—	—	76	76	—	76	—	—	76
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△88	△88	—	—	△88
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△8,762	△8,762	△8,762
当会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	260	△235	24	△88	△64	△8,762	△8,762	△8,826
平成20年9月期残高	2,502	2,252	78	2,331	290	8,900	156	9,346	△134	14,045	7,437	7,437	21,482

(注) 平成20年6月の定時株主総会における利益処分項目です。

## 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	19年9月中間期	20年9月中間期	20年3月期
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前中間(当期)純利益	91	128	1,009
減価償却費	300	326	623
支払備金の増加額	178	1,028	△149
責任準備金の増加額	2,648	6,856	5,481
貸倒引当金の増加(△減少)額	34	8	83
退職給付引当金の増加(△減少)額	△304	△160	△507
役員退職慰労引当金の増加(△減少)額	△102	7	△59
賞与引当金の増加(△減少)額	11	△3	295
価格変動準備金の増加(△減少)額	94	△368	232
利息及び配当金収入	△3,853	△4,310	△7,787
有価証券関係損益	△700	△834	△2,848
支払利息	0	0	0
為替差損益	△705	266	△705
有形固定資産関係損益	77	1	△43
その他資産(除く投資活動関連・財務活動関連)の増加額(△減少)	△1,245	△765	△1,401
その他負債(除く投資活動関連・財務活動関連)の増加額(△減少)	598	△900	204
その他	1,002	49	1,243
小計	△1,873	1,329	△4,328
利息及び配当金の受取額	3,622	4,024	7,535
利息の支払額	△0	△0	△0
法人税等の支払額	△534	△158	△832
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214	5,195	2,375
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
預貯金の純増加額	117	2	131
買入金銭債権の取得による支出	13	—	—
買入金銭債権の売却・償還による収入	—	13	26
金銭の信託の増加による支出	△53	△10	△273
金銭の信託の減少による収入	15	2,980	125
有価証券の取得による支出	△36,573	△23,278	△78,309
有価証券の売却・償還による収入	24,050	25,653	40,605
貸付けによる支出	△1,085	△53	△1,143
貸付金の回収による収入	122	97	284
II① 小計	△13,394	5,405	△38,553
(I + II①)	(△12,179)	(10,600)	(△36,177)
有形固定資産の取得による支出	△28	△31	△54
有形固定資産の売却による収入	—	—	123
無形固定資産の取得による支出	—	△238	△901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,422	5,135	△39,386
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
自己株式の取得による支出	△44	△88	△46
自己株式の売却による収入	79	—	79
配当金の支払額	△51	△51	△51
その他	△0	17	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△122	△18
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増加(△減少)額</b>	△12,224	10,208	△37,029
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	65,503	28,473	65,503
<b>VII 現金及び現金同等物中間期末(期末)残高</b>	53,279	38,681	28,473

## 中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 子会社株式の評価は、移動平均法に基づく原価法によります。
- (2) その他有価証券のうち時価のあるものの評価は、中間決算日の市場価格等に基づく時価法によります。なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、また、売却原価の算定は移動平均法に基づいています。
- (3) その他有価証券のうち時価のないものの評価は、移動平均法に基づく原価法又は償却原価法によります。
- (4) 有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、時価法によります。  
なお、組込デリバティブを区分して測定することができない複合金融商品は、全体を時価評価し、評価差額を当期の損益に計上している。

## 2. 有形固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は、定率法によります。

## 3. 無形固定資産の減価償却の方法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法によります。

## 4. 引当金の計上基準

## (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準及び償却・引当基準により、次のとおり計上しています。

破産、特別清算、手形交換所における取引停止処分等、法的・形式的に経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額等を控除し、その残額を引き当てています。

今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断して必要と認められる額を引き当てています。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を引き当てています。

また、全ての債権は資産の自己査定基準に基づき、各資産所管部門が資産査定を実施し、当該部署から独立した検査部門が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っています。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しています。

なお、数理計算上の差異は、翌期に一括費用処理することとしています。

## (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しています。

## (4) 賞与引当金

従業員賞与に充てるため、支給見込額を基準に計上しています。

## (5) 価格変動準備金

株式等の価格変動による損失に備えるため、保険業法第115条の規定に基づき計上しています。

5. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

6. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっています。ただし、損害調査費、営業費及び一般管理費等の費用は税込方式によっています。

なお、資産に係る控除対象外消費税等はその他資産に計上し、5年間で均等償却を行っています。

7. リース取引の処理方法

当社は、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

（会計方針の変更）

当社は、所有権移転外ファイナンス・リース取引について、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によってきましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間会計期間からこれらの会計基準等を適用し、リース取引開始日が平成20年4月1日以後の所有権移転外ファイナンス・リース取引について、通常の売買取引に係る会計処理によっています。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とする定額法を採用しています。

これによる経常利益および税引前中間純利益への影響は軽微であります。

## 注記事項

## （中間貸借対照表関係）

1. 有形固定資産の減価償却累計額は、970百万円、圧縮記帳額は1,320百万円です。
2. 収益に係る消費税等と、資産に係る消費税等のうち控除対象消費税等は、相殺したうえ、その他資産に計上しています。資産に係る消費税等のうち控除対象外消費税等の未償却残高についてはその他資産に計上しています。
3. 担保に供している資産は有価証券50百万円です。

4. (1) 貸付金のうち、破綻先債権額、延滞債権額はありませぬ。

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸付金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸付金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸付金です。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であつて、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸付金以外の貸付金です。

- (2) 貸付金のうち、3カ月以上延滞債権額はありませぬ。

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸付金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものです。

- (3) 貸付金のうち、貸付条件緩和債権額はありませぬ。

なお、貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものです。

5. 支払備金の内訳は次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前、(ロ)に掲げる保険を除く)	12,280 百万円
<u>同上にかかる出再支払備金</u>	<u>632 百万円</u>
差引 (イ)	11,647 百万円
<u>地震保険および自動車損害賠償責任保険にかかる支払備金(ロ)</u>	<u>1,474 百万円</u>
計 (イ+ロ)	13,122 百万円

6. 責任準備金の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金(出再責任準備金控除前)	317,520 百万円
<u>同上にかかる出再責任準備金</u>	<u>944 百万円</u>
差引 (イ)	316,575 百万円
<u>その他の責任準備金 (ロ)</u>	<u>31,149 百万円</u>
計 (イ+ロ)	347,725 百万円

## (中間損益計算書関係)

## 1. 正味収入保険料の内訳は次のとおりであります。

収入保険料	24,095 百万円
支払再保険料	3,863 百万円
差引	20,232 百万円

## 2. 正味支払保険金の内訳は次のとおりであります。

支払保険金	12,192 百万円
回収再保険金	2,433 百万円
差引	9,759 百万円

## 3. 諸手数料及び集金費の内訳は次のとおりであります。

支払諸手数料及び集金費	4,222 百万円
出再保険手数料	353 百万円
差引	3,868 百万円

## 4. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は次のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前、(ロ)に掲げる保険を除く)	1,276 百万円
同上にかかる出再支払備金繰入額	194 百万円
差引 (イ)	1,081 百万円
地震保険および自動車損害賠償責任保険にかかる支払備金繰入額(ロ)	△52 百万円
計 (イ+ロ)	1,028 百万円

## 5. 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額(出再責任準備金控除前)	7,055 百万円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	195 百万円
差引 (イ)	6,860 百万円
その他の責任準備金繰入額 (ロ)	△3 百万円
計 (イ+ロ)	6,856 百万円

## 6. 利息及び配当金収入の内訳は次のとおりであります。

預貯金利息	6 百万円
コールローン利息	73 百万円
買入金銭債権利息	3 百万円
有価証券利息・配当金	4,183 百万円
貸付金利息	33 百万円
その他利息・配当金	11 百万円
合計	4,310 百万円

## （中間キャッシュ・フロー計算書関係）

1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記の通りです。（平成20年9月30日現在）

現金及び預貯金	9,691百万円
コールローン	29,000百万円
有価証券	329,787百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△10百万円
<u>現金同等物以外の有価証券</u>	<u>△329,787百万円</u>
現金及び現金同等物	38,681百万円

2. 投資活動によるキャッシュ・フローには、保険事業に係る資産運用業務から生じるキャッシュ・フローを含んでいます。

## 有 価 証 券 関 係

## 1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

前中間会計期間、当中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても該当ありません。

## 2. 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

前中間会計期間、当中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても該当ありません。

## 3. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種 類	19年9月中間期			20年9月中間期			20年3月期		
	取得原価	中間貸借 対照表 計上額	差 額	取得原価	中間貸借 対照表 計上額	差 額	取得原価	貸借対照 表計上額	差 額
公 社 債	171,639	173,634	1,995	183,521	187,291	3,770	180,450	187,251	6,800
株 式	55,784	93,450	37,666	66,956	76,075	9,118	68,171	86,584	18,412
外 国 証 券	46,855	48,453	1,598	45,645	44,040	△1,605	51,745	50,312	△1,432
そ の 他	7,043	10,656	3,613	9,031	9,388	357	9,459	11,034	1,575
合 計	281,322	326,195	44,873	305,154	316,795	11,641	309,826	335,182	25,356

(注) 当中間期において、その他有価証券で時価のあるものについて、1,203百万円減損処理を行っています。

なお、当該有価証券の減損に当たっては、時価の帳簿価額に対する下落率が50%以上の銘柄はすべて減損を行い、下落率が30%以上50%未満の銘柄については、回復する見込みがあると認められる場合を除き減損処理を行っています。

## 4. 時価評価されていない主な有価証券の内容

及び中間貸借対照表(貸借対照表)計上額

(単位：百万円)

種 類	19年9月中間期	20年9月中間期	20年3月期
子 会 社 株 式	14	174	14
そ の 他 有 価 証 券	11,177	12,817	9,909
公 社 債	0	0	0
株 式	3,256	5,219	3,292
外 国 証 券	5,300	5,800	5,800
そ の 他	2,621	1,798	816
(うち主なもの)			
優 先 株 式	(490)	(1,470)	(480)

金 銭 の 信 託 関 係

## 1. 満期保有目的の金銭の信託

前中間会計期間、当中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても該当ありません。

## 2. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

前中間会計期間、当中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても該当ありません。

(注) 上記のほか取得原価をもって中間貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が550百万円あります。

デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価および評価損益の状況

## クレジットデリバティブ取引

種 類	19年9月中間期			20年9月中間期			20年3月期			
	契約額等 (百万円)	時価(百万円)	評価損益 (百万円)	契約額等 (百万円)	時価(百万円)	評価損益 (百万円)	契約額等 (百万円)	時価(百万円)	評価損益 (百万円)	
市場取引以外の取引	その他 (複合金融商品)	-	-	-	1,455	1,377	△77	5,000	4,955	△45
合 計		-	-	-	1,455	1,377	△77	5,000	4,955	△45

(注) 1. 時価については、取引金融機関より提示されたものによっている。

2. 組込デリバティブについて、時価の測定を合理的に区分して測定できないため、当該複合金融商品全体を時価評価し、評価差額を損益に計上している。

## リスク管理債権情報

(単位：百万円)

	19年9月中間期	20年9月中間期	比較増減	20年3月期
破綻先債権額	—	—	—	—
延滞債権額	—	—	—	—
3ヶ月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸付条件緩和債権額	—	—	—	—
計	—	—	—	—
貸付金残高に対する比率	—	—	—	—
(参考) 貸付金残高	3,034	2,907	△127	2,939

(注) 1. 各債権の意義は次の通りであります。

## ①. 破綻先債権

破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込がないものとして未収利息を計上しなかった貸付金（以下「未収利息不計上貸付金」という）のうち、法人税法施行令に定める一定の事由が生じているものであります。

## ②. 延滞債権

延滞債権とは、未収利息不計上貸付金であって、破綻先債権及び債務者の再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外のものであります。

## ③. 3ヶ月以上延滞債権

3ヶ月以上延滞債権とは、元本または利息の支払が、約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している貸付金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

## ④. 貸付条件緩和債権

貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸付金で、破綻先債権、延滞債権及び3ヶ月以上延滞債権に該当しないものであります。

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円，%)

	19年9月中間期	20年9月中間期	20年3月期
(A) ソルベンシー・マージン総額	76,990	47,729	60,029
資本金又は基金等	13,804	14,019	14,057
価格変動準備金	2,480	2,249	2,618
危険準備金	—	21	13
異常危険準備金	15,779	16,203	15,788
一般貸倒引当金	54	101	101
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	40,385	10,476	22,820
土地の含み損益	△446	△447	△447
負債性資本調達手段等	—	—	—
控除項目	—	—	—
その他	4,931	5,104	5,075
(B) リスクの合計額			
$\sqrt{\{(R_1+R_6)^2+(R_2+R_3)^2\}+R_4+R_5}$	18,393	17,389	17,745
一般保険リスク (R <sub>1</sub> )	2,255	2,229	2,226
予定利率リスク (R <sub>2</sub> )	439	441	436
資産運用リスク (R <sub>3</sub> )	12,993	11,505	12,430
経営管理リスク (R <sub>4</sub> )	401	380	387
巨大災害リスク (R <sub>5</sub> )	4,370	4,855	4,299
第三分野保険の保険リスク (R <sub>6</sub> )	—	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率			
$[(A)/\{(B)\times 1/2\}]\times 100$	837.1	548.9	676.5

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

## ＜ソルベンシー・マージン比率＞

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（上表の（B））に対する「損害保険会社が保有している純資産・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の（A））の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」（上表の（C））です。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - ① 保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（一般保険リスク）（巨大災害に係る危険を除く。）
  - ② 予定利率上の危険：積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した（予定利率リスク）利回りを下回ることにより発生し得る危険
  - ③ 資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動すること（資産運用リスク）により発生し得る危険等
  - ④ 経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
  - ⑤ 巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険（巨大災害リスク）
- ・「損害保険会社が有している純資産・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、有価証券・土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。